

C協働学習 (C2)

主な学習活動

- ・祭りについて調べたことを分類・整理する。
- ・祭りに込められた地域の人々の願いを考える。

1 本時のねらい

古くから続く県内各地の祭りについて調べ、友達と情報を共有し合うことにより、祭りに込められた地域の人々の願いを考えることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

電子黒板

Google Jamboard

Google Classroom

3 参考にしてほしいポイント

- ・ Google Jamboardは共同編集ができるので、班ごとの話し合いで調べた情報をすぐに分類・整理することができる。
- ・ Google Classroomに一人一人の考えが表示されるので、効率よく友達の多様な考えに触れることができる。

段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べた情報をGoogle Jamboardの付箋機能を使って班で分類・整理する。 ・ 祭りに込められた地域の人々の願いをGoogle Classroomに入力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付箋へ入力する際に、歴史・場所・特徴・願いなど分類する視点や、付箋の色分けについて説明する。 ・ Google Jamboardの付箋やGoogle Classroomを活用し、友達の多様な考えを参考にして、自分の考えをもつことができるようにする。

タブレット

+

電子黒板



わたしは
黄緑色に
かくよ。

これは、
歴史かな。



4 活用効果

班ごとに祭りの歴史・場所・特徴・願いなどについてGoogle Jamboardを活用して分類・整理しながら、自分たちが調べた情報をまとめることができた。また、それらを比較することにより、祭りを受け継いできた人々に共通する願いについて考えることができた。

5 アドバイザーからのコメント

資料の中で4つに分類された付箋が掲載されていますが、この分類が大変重要です。それは内容を構造化したことなので、それが脳に反映されて、脳の中で内容が綺麗に整理されて記憶されやすくなるからです。人はバラバラでは理解したことにはならないからです。
(東京工業大学 赤堀侃司)

付箋型アプリを用いるとちょっとした共有が簡単にでき、他者の考えに触れやすくなるほかデータの構造化や整理が容易になります。学習支援アプリのシンキングツールなども機会をみて活用すると、データの構造化に際して適切なパターン選択ができるようになることが期待できます。
(福島大学 平中宏典)